



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 29

発行 令和3年10月29日
発行責任者 校長 菅野 靖



五箇中学校 佐渡・新潟方面 修学旅行 フェリー、たらい、トキ、かに、GOLD 大成功！

10月26日(火)から28日(木)の3日間、3年生は佐渡島、新潟方面への修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初の計画からは行先や日時が変更となりましたが、無事に実施をすることができ、生徒にとって思い出深い最高の修学旅行となりました。

1日目、朝起きると雨が降っていましたが、学校を出発する頃には雨もおさまりました。3年生の日頃の行いに感謝しながらバスで新潟県へ。新潟港から佐渡汽船に乗り、海を渡って両津港へと向かいました。バスに乗ったままフェリーに乗り込むという体験はなかなかできることではありません。海風を感じながらカモと一緒に遊覧したり、友達や先生とトランプをしたりしながら過ごしました。佐渡へ向かう船旅は思ったよりも短く感じるほどで、あっという間に両津港に到着しました。佐渡島で最初に訪れたのは「トキの森公園」です。トキガイドの方からトキの歴史や生態についてお話をいただきました。日本産の最後の野生のトキとして有名な、平成15年になくなった「キン」の剥製もありました。トキは、かつては日本各地で見られたそうです。現在は、人工繁殖に成功し毎年少しずつ放鳥しているそうです。自然動物の保護の難しさを学びました。見学後、伝統と風格の宿「ホテル万長」で、ベニズワイガニをはじめ日本海産の新鮮な魚介類



【トキの森公園にて】



を中心としたおいしい夕食をいただきました。

2日目、ホテルを出発して、まずは小木港へ向かい「たらい舟体験」です。佐渡の名物であるたらい舟は200年以上の歴史があります。アワビやタコなどの魚介類やワカメなどの海藻採取を行うために、小回りがきくのが特徴だそうです。実際に、乗ってみるとその場で回るだけで思うように進ませるのは難しいものでした。誰もたらい舟の免許を取得できませんでしたが、とても楽しいアトラクションを体験した気分でした。次に向かったのは、「佐渡西三川ゴールドパーク」です。西三川砂金山は、上杉謙信の軍資金源として役立ち、さらには1000年前の「今昔物語」にもその記載があるそうです。説明はほぼ全員の耳を通り抜け、いざ砂金採りスタートです。なんとスタッフの方がやり方を説明してくれた時に、砂金2粒がパンニング皿(砂金と砂利を分別する道具)にあるではないですか。それを見た生徒と先生方は目の色を変えて、本気、根気、やる気で一心不乱に砂金採りにいそしみました。なんと10粒以上採取した生徒や先生もおり、その砂金をペンダントやキーホルダーにしてお土産にしました。生徒も先生方も本当に楽しいひとりで、集合写真を撮り忘れてしまうほどでした。その後、佐渡歴史伝説館を訪れ、帰りのフェリーでは、日本海に沈んでいく太陽を見ることができました。佐渡島の歴史や風土を学んだ1日でした。



【たらい舟体験】



【40分間の砂金採り体験】



【フェリーにて夕陽をバックに撮影】

3日目、「マリニピア日本海」で海棲生物について学びました。イルカのショーでは、勇気ある五箇中生は、プールの最前列に座り、数名、水しぶきを浴びましたが、注目も浴び思い出に残る経験ができました。お昼は郷土料理を楽しみ、「白根グレープ園」では、立派なロザリオピアンコなどのブドウ狩りを楽しみました。その他にも、10種類のぶどうやナシ、カキなどもバイキングで準備されており、秋の味覚を堪能しました。



【イルカのショーで水も滴る…】

3日間、元気に過ごすことができた皆さんの思い出もできました。修学旅行を通して一回り成長することができ大成功だったと思います。今後も次の目標に向かって、力を合わせて頑張っていってほしいと思います。修学旅行の実施にあたり、保護者の方々にはいろいろとご心配をおかけいたしました。無事に実施することができました。ご理解とご協力をいただきありがとうございました。



【ぶどう食べ放題に満面の笑み】